

近江八幡市立総合医療センターを受診された患者様へ

～研究情報の公開について（オプトアウト開示）～

臨床研究を行うにあたり、通常は文書ならびに口頭による説明と同意（インフォームド・コンセント）が必要です。しかし、過去の診療情報のみを用いて匿名化された研究を行う場合には直接同意を得る行程を省略できるという指針があります。ただし、患者様が研究の対象に入ることを拒否する機会は保障されており、このことをオプトアウトといいます。

以下の研究はオプトアウトの開示により行っております。該当する患者様の中で、研究への協力を希望されない方は研究担当者までご連絡ください。

研究課題名	保存期腎不全検査教育入院患者のデータ追跡およびそれを用いた研究
研究責任者（所属）	門 浩志（腎臓内科）
本研究の目的	保存期腎不全検査教育入院を受けた患者様の入院時の状態とその後の経過を調査することで、専門医による治療の効果を確かめる。
調査データ 該当期間	2006年以降
研究の方法	研究の対象となる患者様：当院腎臓内科で保存期腎不全検査教育入院を受けられた方 利用する情報：採血・尿検査などの検査結果、生理機能検査、画像検査、既往歴、患者背景などの診療情報
個人情報の取り扱い	利用する情報には住所や氏名など、個人が特定できるような情報は含まれません。データは電子カルテ内で匿名化し、個人が特定されない状態で解析等に用います。
研究成果の公表	研究から得られた結果は学会発表・論文などでの公表を予定しています。
お問い合わせ先	担当：門 浩志（腎臓内科・腎臓センター長） 電話：0748-33-3151（代表）
その他・備考	対象となる診療情報は入院前後のものも含まれます。 該当する情報は基本的に当院のものに限られますが、別途文書により同意書を頂いた方に関しては、他院への問い合わせを行うことがあります。